

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」.....

たまちゃん通信

平成31年1月発行 107-4

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

新たな挑戦で夢開きませんか

『北村義雄ヤップ通信』第4回

昨年を振り返り、赴任後8か月間の私のJICAシニア海外ボランティア職員としての仕事の一端を紹介させていただきます。

それに先立ち皆様方の中で新年を迎えるに当たり、新たなことに挑戦を誓われる方もおられると思いますが、JICAボランティアに挑戦するのはいかがですか。69歳までの方でしたら男女の別なくどなたでも挑戦できます。任期は2年間で、数回されてい

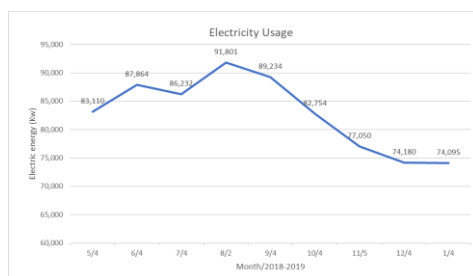


る方もいます。ボランティアといっても、住まいは提供され、現地の生活費は国から支給されます。少しは語学力がいますが、すでに能力をお持ちの方は別としてお手玉遊びと同様に脳の活性化として挑戦されてはいかがですか。仲間が増えることを期待しています。



世界各国で活動しているJICAボランティアの現状を紹介した『世界日記』を、インターネットでご覧いただけます。ミクロネシアは、私が担当していて、おおむね月2回投稿しています。

さて、私に一番求められていたのは、病院の省エネの方法でした。日本に比べ3倍ほど高い電気代を少なくする方法です。また、水道の使用量も同様でした。技術移転も業務の中にあります。電気の省エネとして不要箇所の照明の撤去、不要な換気扇の撤去、照明のLED化、不在時の照明の不点灯の協力依頼などを行い、水道はトイレタンクの漏水箇所の調査と修繕、毎日の水道使用量のチェックを行っています。これは早期の漏水箇所の発見に役立っています。屋根上に置かれ炎天にされたクーラーの屋外機が高温になり、冷房能力が低くなっているものには、屋外機の天井部に木板を取り付け、温度の上昇を抑え省電力化を図ることなどもしています。結果はグラフにあるような電力の省エネ効果が出ています。(1百万円/月の削減)



皆様方の今年のご活躍と、ご健康を祈念いたします。今年もよろしくお祈りします。

(日本のお手玉の会副会長)